平成24年度

病害虫情報(第９号)１２月予報

平成２４年１１月３０日
神奈川県農業技術センター所長

【内　容】

Ⅰ 12月の主な病害虫の防除要否、発生・防除時期、防除の要点 ･････････ 1
Ⅱ 12月の病害虫発生予報の内容とその根拠 ･････････････････････････ 4
Ⅲ 12月の気象予報及び気象の経過 ･････････････････････････････････ 6

農薬を使用する際は、使用基準を遵守するとともに飛散防止に努めましょう。
掲載農薬は一般的な場合を想定し、防除効果を優先して選定しています。
収穫期の作物が近接している場合など、個別に残留基準値の設定状況を考慮する必要がある場合は関係機関にご相談ください。

病害虫防除部　　ＴＥＬ　０４６３－５８－０３３３
テレフォンサービス　　ＴＥＬ　０４６３－５８－６６１２
インターネット　http://www.agri-kanagawa.jp/nosoken/boujo.asp

＊農薬に関する情報は、平成24年11月21日までの農薬登録情報に基づいて記載しています。

Ⅰ 12月の主な病害虫の防除要否、発生・防除時期、防除の要点

※［防除要否］◎:追加防除が必要　○:通常防除　△:必要に応じて防除　×:防除の必要なし
［発生・防除時期］　━━━ 発生時期　～～～～ 多発時期　……感染時期　∞∞∞∞越冬・潜伏時期　←──→ 防除適期

作物名	病害虫名	発生予想(平年比)	防除要否	発生・防除時期 12月 上	12月 中	12月 下	1月 上	今月の防除	防除のポイント
カンキツ	ミカンハダニ	並	○	(収穫期) ━━	━━	━━	∞越冬∞	マシン油乳剤（９５%，９７%，９８%）等	＊マシン油乳剤は商品によって使用基準が異なるので、ラベルの記載に従うこと。
	カイガラムシ類	－	○			←──	──→		
抑制トマト	うどんこ病	－	○	━━	━━	━━	━━	(予)インプレッション水和剤［発病前～発病初期，－］葉かび病：500倍 うどんこ病、灰色かび病：500～1,000倍 (予・治)カンタスドライフロアブル［前日，3回］葉かび病、灰色かび病：1,000～1,500倍 (治)サンクリスタル乳剤［前日，－］うどんこ病：300～600倍 等	
	葉かび病	－	△	←──	──→				
	灰色かび病	－	△						
	コナジラミ類 タバココナジラミ（ＴＹＬＣＶ）	－	○	━━	━━	━━	━━	コルト顆粒水和剤［前日，3回］4,000倍 クリアザールフロアブル［前日，2回］2,000～4,000倍 サンクリスタル乳剤［前日，－］300倍 等	・コルトはアブラムシ類にも適用あり。 ・クリアザール(2,000倍)はトマトサビダニにも適用あり。 ・サンクリスタルはアブラムシ類、トマトサビダニにも適用あり。
				←──	──→				

【マルハナバチへの影響】農薬散布の際は、巣箱を施設から出し、巣箱を再導入する前には、換気を十分に行い、薬液が乾いていることを確認すること。
・影響のある剤：コルト(7日)

病害虫情報 (H24・No.9) …… 神奈川県農業技術センター

作物名	病害虫名	発生予想(平年比)	防除要否	発生・防除時期 12月 上	12月 中	12月 下	1月 上	今月の防除	防除のポイント
促成トマト	灰色かび病	－	○	(定	植)			(予)ボトキラー水和剤 ［発病前～発病初期，－：ダクト内投入］ 10～15g/10a/日 (予)セイビアーフロアブル２０ ［前日，3回］1,000～1,500倍　等	
	コナジラミ類 タバコ コナジラミ （TYLCV）	－	○	(定	植)			**【定植時：植穴施用】** モスピラン粒剤［定植時，1回：植穴土壌混和］ コナジラミ類、アブラムシ類：1g/株 ダントツ粒剤［定植時，1回：植穴処理土壌混和］ コナジラミ類、アブラムシ類：1～2g/株	・モスピラン（粒）はトマトハモグリバエにも適用あり。 ・ダントツはマメハモグリバエ、トマトハモグリバエ（2g/株）にも適用あり。 ・スピノエースはハモグリバエ類にも適用あり。 ・サンクリスタルはトマトサビダニ、うどんこ病(300～600倍)にも適用あり。
	アブラムシ類 （CMV）	－	○						
	アザミウマ類 （TSWV）	－	○					**【定植後：散布】** コルト顆粒水和剤［前日，3回］ コナジラミ類、アブラムシ類：4,000倍 モスピラン水溶剤［前日，3回］2,000倍 スピノエース顆粒水和剤［前日，2回］ アザミウマ類：5,000倍 サンクリスタル乳剤［前日，－］ コナジラミ類、アブラムシ類：300倍　等	【マルハナバチへの影響】農薬散布の際は、巣箱を施設から出し、巣箱を再導入する前には、換気を十分に行い、薬液が乾いていることを確認すること。 ・影響のある剤：ダントツ(20日)、コルト(7日)、スピノエース(3日)
促成イチゴ	うどんこ病	並	○					(予)インプレッション水和剤 ［発病前～発病初期，－］2,000倍 (予・治)アフェットフロアブル［前日，3回］2,000倍 (予・治)パンチョＴＦ顆粒水和剤［前日，2回］2,000倍 (治)サンクリスタル乳剤［前日，－］300～600倍　等	・インプレッション(500～1,000倍)、アフェットは灰色かび病にも適用あり。 ・パンチョＴＦはトリフルミゾールを含む混合剤。トリフミン等は同じ成分を含む。
	アブラムシ類 コナジラミ類 タバコ コナジラミ	やや少 やや多	○ ○					モスピラン水溶剤［前日，2回］ アブラムシ類：2,000～4,000倍 コナジラミ類：2,000倍 チェス顆粒水和剤［前日，3回］5,000倍 サンクリスタル乳剤［前日，－］300倍　等	
	アザミウマ類	やや少	△					モスピラン水溶剤［前日，2回］2,000倍 カスケード乳剤［前日，3回］ ミカンキイロアザミウマ：4,000倍　等	・カスケードはハスモンヨトウにも適用あり。
	ハダニ類	やや少	○					マイトコーネフロアブル［前日，2回］1,000倍 サンクリスタル乳剤［前日，－］300～600倍　等	【ミヤコカブリダニ、チリカブリダニへの影響】 ・モスピランは影響あり。 ・サンクリスタルは多少影響あり。

【ミツバチへの影響】農薬散布の際は、巣箱を施設から出し、巣箱を再導入する前には、換気を十分に行い、薬液が乾いていることを確認すること。
・影響のある剤：アフェット(1日)

病害虫情報 (H24・No.9) …… 神奈川県農業技術センター

作物名	病害虫名	発生予想(平年比)	防除要否	発生・防除時期 12月 上	12月 中	12月 下	1月 上	今月の防除	防除のポイント
三浦半島地区野菜									
キャベツ	菌核病	並	○	――	←――→	――	――	(予・治)ロブラール水和剤［7日,4回］1,000倍 (予・治)カンタスドライフロアブル［7日,2回］1,500倍 等	・発病株は早期に処分する。 ・雨で病原菌胞子が飛散するので、強い雨の後には薬散を行う。
ダイコン	黒斑細菌病	やや多	○	――	←――→	――	←――→	(予)Ｚボルドー［－,－］500倍 (予・治)カセット水和剤［21日,3回］1,000倍 等	・Ｚボルドーによる薬害が懸念される場合は、クレフノン（100～200倍）を加用す ・左記の剤は、軟腐病にも適用あり。
	白さび病	並	○	――	←――→	――	←――→	(予・治)アミスター２０フロアブル［14日,3回］2,000倍 (予・治)ランマンフロアブル［3日,3回］2,000倍 等	
	アブラムシ類	並	○	――	←――→	――	――	アドマイヤーフロアブル［14日,2回］4,000倍 ベストガード水溶剤［7日,3回］1,000～2,000倍 等	

Ⅱ　12月の病害虫発生予報の内容とその根拠

作物名 病害虫名	発生量 程度	発生量 平年比	予報の根拠
カンキツ類 ミカンハダニ	少	並	1) 県予察ほでは、発生が平年よりやや多い。（＋） 2) 10月の巡回調査では、発生が平年並。（±） 3) 気温は低く、降水量は平年並か多い予報。（－）
促成イチゴ うどんこ病	少	並	1) 巡回調査では、発生が平年並。（±） 2) 気温は低く、降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない予報。（±）
アブラムシ類	少	やや少	1) 巡回調査では、発生が平年よりやや少ないが、有翅アブラムシの寄生が確認されている。（±） 2) 県予察ほ（平塚）の黄色水盤への飛来は、平年並。（±） 3) 気温は低く、降水量は平年並か多い予報。（－）
オンシツコナジラミ タバココナジラミ	少 少	少 やや多	1) 巡回調査では、オンシツコナジラミの発生が平年よりやや少なく（－）、タバココナジラミの発生が平年より多く、発生度が平年の3.6倍に達している（＋）。 2) 気温は低く、降水量は平年並か多い予報。（－）
アザミウマ類	少	やや少	1) 11月の巡回調査では、寄生が見られず、発生は平年よりやや少ないが、8～9月における野外設置の青色粘着板への誘殺数がやや多～多であった。（±） 2) 気温は低く、降水量は平年並か多い予報。（－）

作物名 病害虫名	発生量 程度	発生量 平年比	予報の根拠
促成イチゴ ハダニ類	少	やや少	1) 11月の巡回調査では、発生が平年より少ないが、10月に一部の園で多発している。（±） 2) 気温は低く、降水量は平年並か多い予報。（－）
三　浦　半　島　地　区			
キャベツ 黒腐病	少	並	1) 巡回調査では、発生が平年よりやや多い。（＋） 2) 気温は低く、降水量は平年並か多い予報。（－）
菌核病	少	並	1) 巡回調査では、発生は見られず、発生は平年よりやや少ない。（－） 2) 気温は低く、降水量は平年並か多い予報。（＋）
ダイコン 黒斑細菌病	少	やや多	1) 巡回調査では、発生が平年よりやや多い。（＋） 2) 気温は低く、降水量は平年並か多い予報。（±）
白さび病	少	並	1) 巡回調査では、発生が平年よりやや少ない。（－） 2) 気温は低く、降水量は平年並か多い予報。（＋）
アブラムシ類	少	並	1) 巡回調査では、発生が平年よりやや多い。（＋） 2) 気温は低く、降水量は平年並か多い予報。（－）
ナモグリバエ	少	やや少	1) 巡回調査では、発生が平年より少ない。（－） 2) 気温は低く、降水量は平年並か多い予報。（－）

病害虫情報（H24・No.9）…… 神奈川県農業技術センター

作物名 病害虫名	発生量 程度	平年比	予報の根拠
三浦半島地区			
アブラナ科野菜 コナガ	少	やや少	1) 巡回調査では、発生がキャベツで平年より少なく、ダイコンで平年よりやや少ない。（－） 2) 三浦のフェロモントラップへの誘殺数は、平年より少ない。（－） 3) 気温は低く、降水量は平年並か多い予報。（－）

（注）「発生量」の表示 …… 程　度：甚＞多＞中＞少＞無
平年比：多＞やや多＞並＞やや少＞少
「予報の根拠」 …… （＋）：多発要因　　（－）：少発要因

Ⅲ　12月の気象予報（気象庁　地球環境・海洋部11月23日発表1か月予報）

〈天　　気〉

平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。

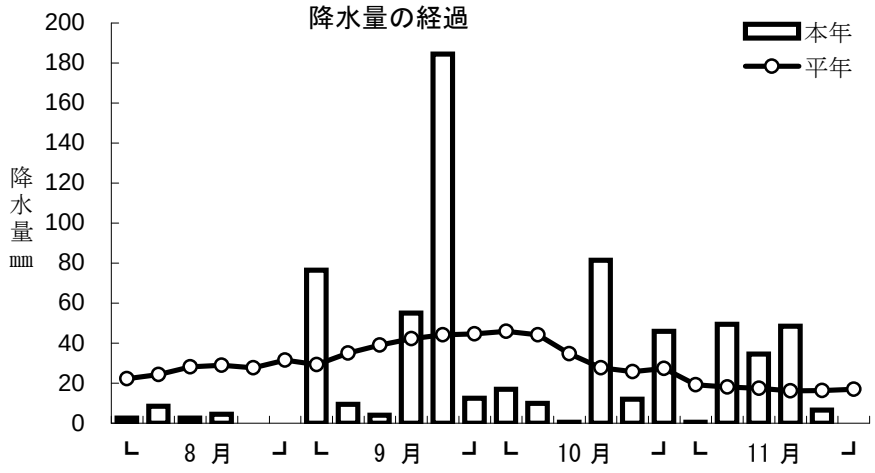
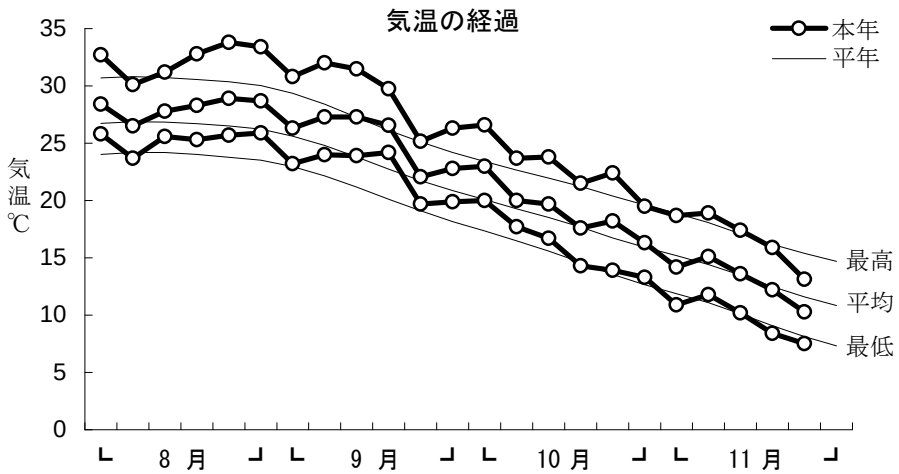
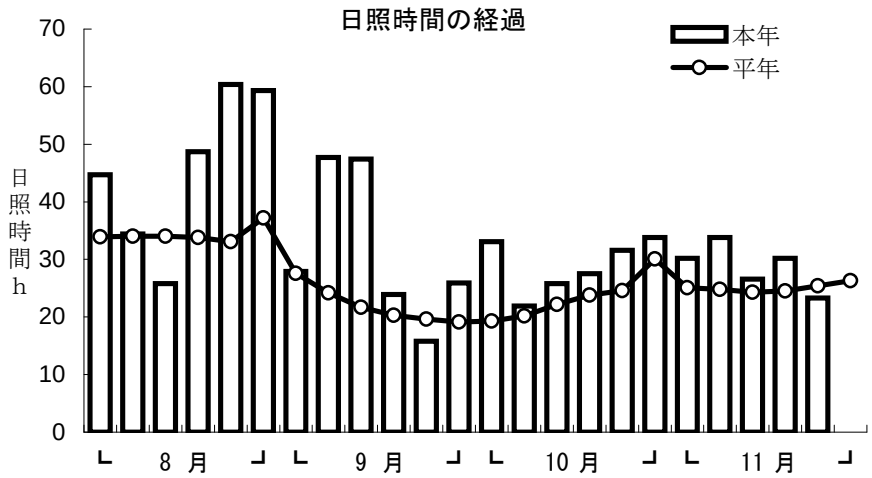
〈要素別予報〉

	低い（少ない）	平年並	高い（多い）
気　温	50%	30%	20%
降水量	20%	40%	40%
日照時間	40%	40%	20%

〈気象の経過〉［観測地　横浜地方気象台］

11月第５半旬まで

気温は１，５半旬は平年より低く、２半旬は平年より高く、３，４半旬は平年並だった。

降水量は、１，５半旬は平年より少なく、２，３，４半旬は平年より多かった。

日照時間は、１，２，４半旬は平年より多く、３，５半旬は平年並だった。